

【作文小学生低学年の部】

**特選** 加賀野小学校 2年 小野寺 都真「ぼくちの水どう」

**特選** 加賀野小学校 3年 堅岡 千結「たいせつな水」

ぼくんちの水どう

二年 おのでら とうま

ぼくは、いつもなにもかんがえないで、水  
どうの水をのんだり、手をあらったりしてい  
ました。学校で水どうし、かんざくひんコン  
テストがあるときりて、水のことをかんがえ  
てみようと鬼いました。

はじめに、いえの中のどこに水どうがある  
か調べました。キッチン、トイレ、せとめん  
じょ、おふろ、せんたくぎ、いえのそと、せ  
んぶで六つも水どうがありました。いえのへ  
ちよりも多か。たです。多くのばしょにある  
ということは、それだけいつもつかっている  
のちがって鬼いました。

もし、水どうがなくなっ。てしま。たら、り  
ぶうりもたべられなくなるし、トイレもおふ  
ろにもたれなくなりま。そのほかにもいつ  
もしているいるいるな。こ。かできなくな。て  
しま。います。ぼくは、生活かできなくなると  
鬼いました。

ぼくのいえでは、ハムスターとメダカを飼  
っています。ハムスターには新しい日エサと水  
をあげています。ハムスターは手にのせると  
もふもふしていてあたたかいので、かぞくみ  
んなでかわいがっています。けれど、ハムス  
ターは、エサと水をあげなければしんでしま  
います。また、メダカは、水そうで気もちよ  
さそうにすいすいおよいでいます。けれど、  
メダカは、水がなければ生きていきません。  
それから、にわには、ミニトマトとひまわ

りをうえています。ぼくが、まい日水やりを  
しています。めが出たときは、うれしかった  
です。花がさいて、ミニトマトのみかなるこ  
とかとても楽しみです。けれど、水をあげな  
ければ、せかく出たためもかれています。いま  
かれています。たら、とてもかなしいです。

あさおきてからねるまで、水どうから出る  
水は、みんなのために大活躍しています。  
水は、すべての生きものが生きていくのにと  
ても大切なものだとわかりました。それから

は、水を大せつにつかりたいと鬼います。

たいせつな水

登米市立加賀野小学校 三年 夏 千結

わたしたちが、いつも使っている水は、いろいろな物にやくだっています。

たとえば、顔をあらうとき、おゆをわかすとき、歯をみがくとき、それらのものに水を使っています。

そして、と米市の水は、北上川というところから、と米市のいろいろなところに行っています。

2

1

水は、世界の人たちだけでなく、動物や草花などには、すぐたいせつなものなのです。水がないと、みんなのどがかわいてしまします。草花はかれちゃったり、動物は命をおとしたりしてしまったりしています。だから、水は、すぐ、たいせつなものなのです。

水は、つめたかったり、あたたかかったりして、いろいろなことに使われます。つめたい水は、プールや、水あび、ながし、うめんなどにも使われます。あたたかい水は、かた

たものを、とかすときなどに、使います。  
 水のやくわりは、それだけじゃなくて、い  
 ろいろなものにも使われています。

世界に氷は、いろいろなところにあって水  
 は、じゃ口をひねるだけで、つめたか、たり  
 あ、たかか、たりして出てきます。

わたしは、水そのまな日は、ありません。  
 いつもかならず、のんでいます。

わたしたちの身のまわりには、たくさん  
 つめたい水あ、たかい水いろいろな水があり  
 ます。それらの水を、いつも飲んで、いるの  
 で、生きていられます。あんばしてくらせて  
 います。

だから水は、すごく世界にと、て、大切な  
 ものなのです。水道水は、いやがる人は、何  
 人かいるけれど、おいしいし、体にわるいも  
 のではありません。とくに、夏は、あつくて  
 のどがかわきます。すぐにのみたい時に、じ  
 ゃ口をひねるだけです。ごくつめたい水が出て  
 くるのでうれいのです。のむときもちがよく

てすっきりします。

私は、いつも水にたすけられています。だから、むだにしないでこれからも生活していきたいと思います。